

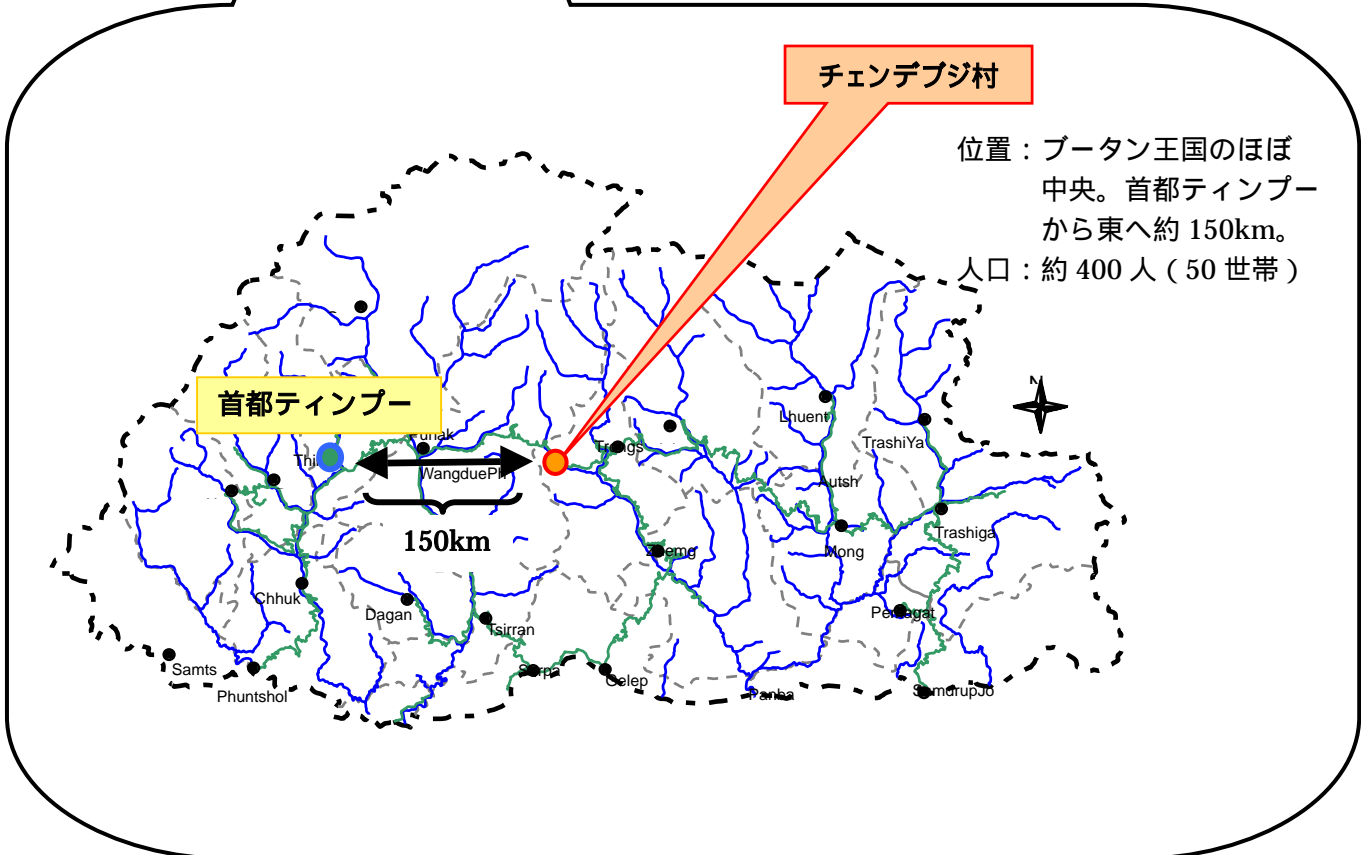
ブータン王国における小規模水力発電 C D M プロジェクトの概要

【ブータン王国とチェンデブジ村の位置】



<ブータン王国の概要>

- 首都 : ティンブー
- 人口 : 約 70 万人
- 面積 : 約 46,500km²
(九州の約 1.3 倍)
- 産業 :
就労人口の約 90%が農業に従事。林業や、セメント等の鉱工業も盛ん。
- 電気事業 :
発電設備容量 44 万 4 千 kW の内、約 97%が水力。主に南部地域においてインド輸出用の大規模水力発電所を開発。山々が連なる地形条件から、高圧送電線網の建設が困難。

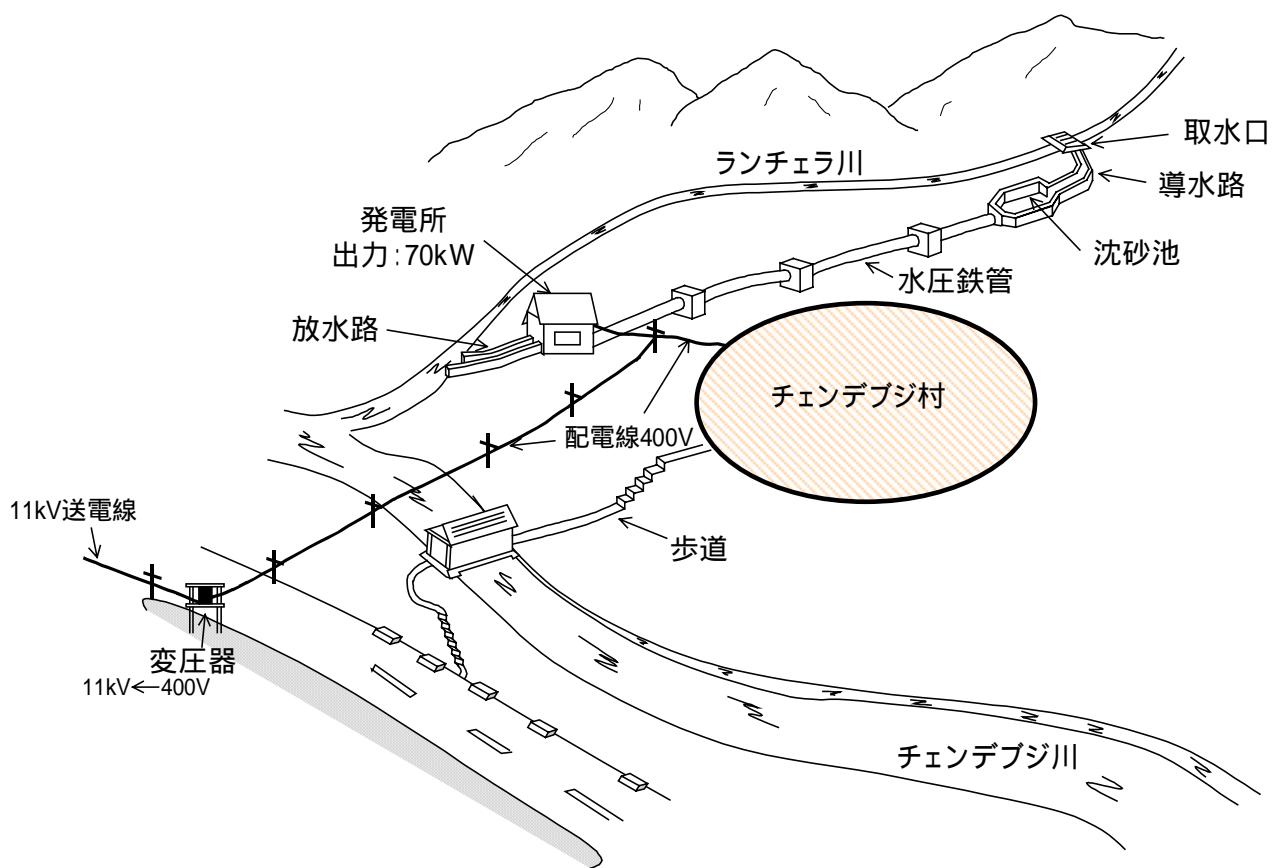


チェンデブジ村

位置 : ブータン王国のほぼ中央。首都ティンブーから東へ約 150km。
人口 : 約 400 人 (50 世帯)

首都ティンブー

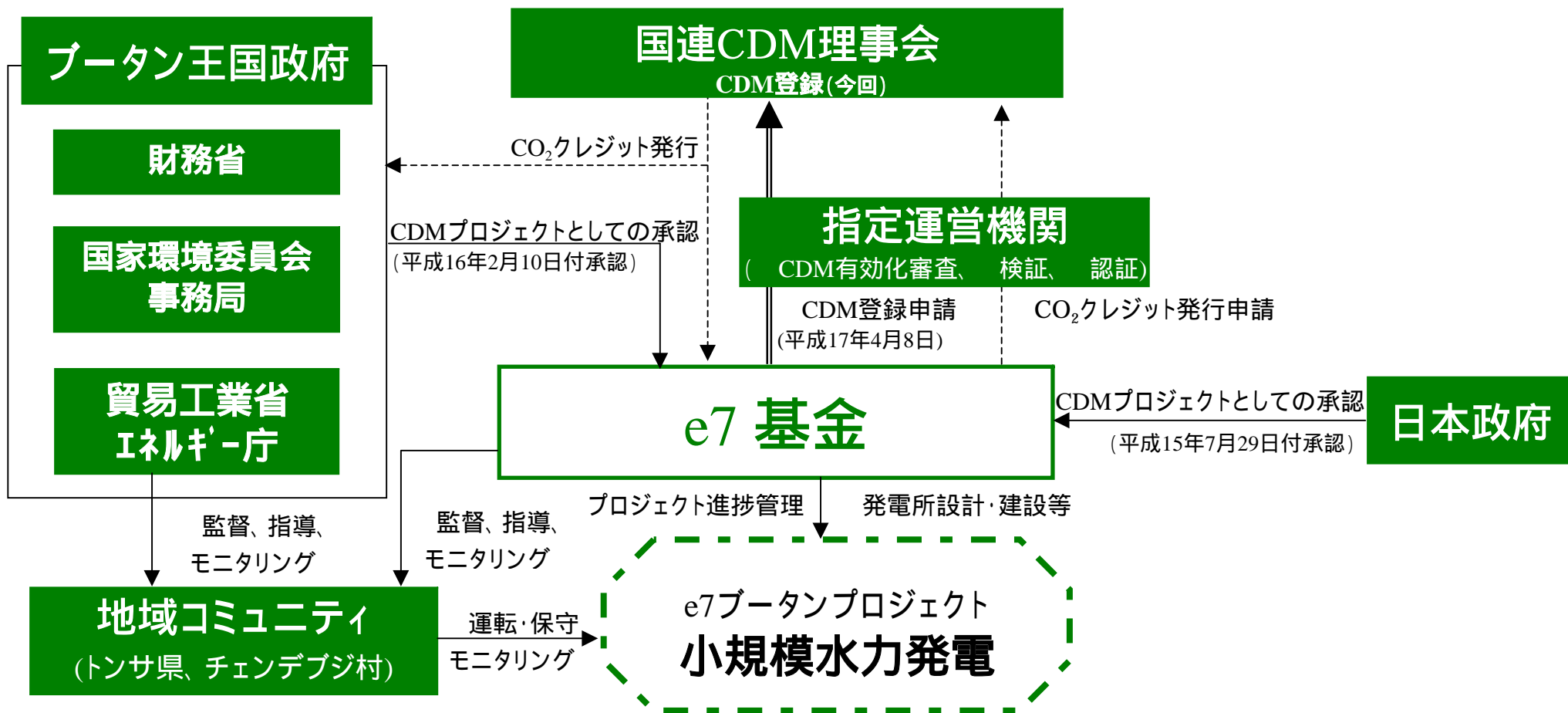
【発電設備位置図】



【チェンデブジ村全景】



【プロジェクトのフレームワーク】



【参考：CDMの概要】

- ・ CDM (Clean Development Mechanism) とは、1997年12月に京都で開催された国連気候変動枠組条約の第3回締約国会議 (COP3) で採択された京都議定書の中で認められている京都メカニズム (排出量取引 (ET)、クリーン開発メカニズム (CDM)、共同実施 (JI)) のうちの1つである。
- ・ CDMの目的は、ホスト国が持続可能な発展を達成し、気候変動枠組条約の究極の目的 (気候系に対して危険な人為的影響を及ぼさない水準に大気中の温室効果ガス濃度を安定化させること) に貢献することを支援し、並びに実施国が京都議定書に基づく数量的な排出抑制及び削減の約束の遵守を達成することを支援することである。
- ・ 第三者独立機関である指定運営機関 (Designated Operational Entity) による CDM プロジェクトの有効化審査が行われ、CDM 理事会等から再審査要請がなかったことから、e7 ブータンプロジェクトは平成 17 年 5 月 23 日に国連により正式に CDM プロジェクトとして登録された。
- ・ CDM プロジェクトにおいては、関係国の CDM 承認、発電所設計・建設等、CDM 有効化審査、CDM 登録、運転・保守、モニタリング、CO₂ 排出削減量の検証、同認証、CO₂ クレジット発行申請といった一連の手続きを経て、CO₂ クレジット発行がなされる。